

## **第 5 章**

### **シンポジウム・展示会等参画報告**

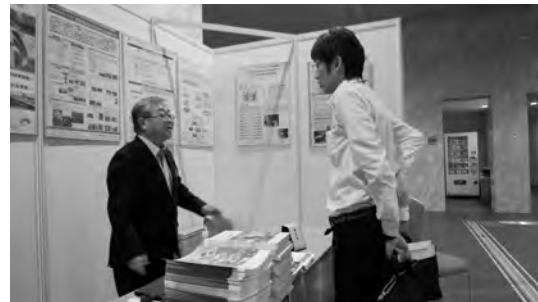


## 5.1 九州建設技術フォーラム 2018

日時：平成 30 年 10 月 9 日、10 日

場所：福岡国際会議場（福岡市）

〔変わらない品質を、これから先も〕をメインテーマに開催された。9 日の基調講演では、政策大学院大学家田仁教授による「インフラメンテナンスの基本的仮題とこれから」と題する維持管理の本質に関する講演がなされた。長崎大学インフラ長寿命化センターと佐賀大学（伊藤幸広教授）が共同でブースを大学関係として唯一展示し、SIP インフラ地域実装支援事業における九州・山口地域の取組み状況や研究開発技術等の説明を行った。参加者は延べ 2,962 人。



展示ブース

## 5.2 長崎建設技術フェア2018

日時：平成 30 年 11 月 1 日、2 日

場所：長崎県立総合体育館メインアリーナ（長崎市）

本年度は東北大学インフラ・マネジメント研究センターと長崎大学インフラ長寿命化センターの合同で「SIP等新技術の社会実装の取組み」のテーマでブースを出展した。九州・山口地域と東北地域におけるSIP等新技術の社会実装の取組みに加えて、大学発の新技術の紹介を行った。国・県・市の行政関係者・道守認定者・地場企業の関係者に詳しい説明ができた。1日目の長崎県土木部藤田技監による講演「長崎県における社会資本の長寿命化について」では、長崎県独自の長寿命化の取組みとして道守認定者の活動や新技術の活用が紹介された。参加者全体で1,602人。

### 【展示内容】

- ・ 長崎大学と東北大学による新技術の社会実装の取組み紹介
- ・ 自治体支援データベースシステムの社会実装(東北大学)
- ・ 斜面早期警戒システムの現場実装と長期モニタリング(長崎大学)
- ・ AIによる革新的ひび割れ検出システムと床板模型の展示(東北大学)
- ・ JICA全世界インフラ研修やコンクリートのモニタリングシステムの紹介(長崎大学)
- ・ 道守養成講座の内容と認定者の活動の紹介(長崎大学)
- ・ SIP紹介冊子、事例集、センターの活動などは資料配布



テープカット



展示ブース



講演会の様子

### 5.3 兵庫県議会建設常任委員会視察

日時：11月16日(金) 10:00-12:00

場所：工学部大会議室

出席者：兵庫県議会建設常任委員会水田常任委員長以下12人、随行者4人

インフラ長寿命化センター山下副センター長以下5人

兵庫県議会建設常任委員会は、交通・社会基盤等の整備、まちづくり、住まいづくりなどに関する予算や条例案の審査等を行っている部署で、活動の一環として、県外における成功事例や先進的な取組等について、年1回視察を実施している。委員会の自主的な活動として調査研究に取り組んでおり、今年度は「インフラ老朽化への対応」をテーマにしている。

今回の調査は、その一環としてインフラ長寿命化に資する教育プログラム「道守養成」に関する調査のための来訪であった。

山下副センター長の挨拶を兼ねた大学の取組みの紹介の後、担当から道守養成講座の内容を資料とパワーポイントを用いて詳細な説明がなされた。また、佐々木准教授と杉本准教授から維持管理に関する研究紹介がなされた。その後質疑応答が交わされた。最後に学内の道守養成講座の演習用教材である解体げたやコンクリート製モデル構造物を見学して終了した。



視察の様子



研究紹介の様子

#### 5.4 NEXCO東日本エンジニアリングと意見交換会

7月4日に、(株)ネクスコ東日本エンジニアリングの5名の方と意見交換会を行いました。ネクスコ東日本エンジニアリングでは、高速道路の異常通報のアプリを作成し、社員の方がそれを利用して通報し、詳細な点検を行う流れになっているそうです。道守でも、道路異常通報のシステムを利用しているので、お互いに「利用者が通報しやすくするためにはどうしたらいいのか。」をメインに話が進みました。そのアプリの操作等見せていただき、どこまで簡略化できるかを考える機会となりました。



#### 5.5 NEXCO中日本エンジニアリングと意見交換会

日時：2月21日(木) 9:30-11:30

場所：インフラ長寿命化センター

出席者：中日本ハイウェイ・エンジニアリング名古屋株式会社能力・人財開発部担当部長(名古屋大学大学院工学研究科橋梁長寿命化推進室)以下4人  
インフラ長寿命化センター 吉田裕子、高橋和雄

2012年度から橋梁の維持管理の研修を実施している名古屋大学大学院工学研究科長寿命化推進室の担当者からヒアリングの要請があり、打ちあわせ会を開催した。名古屋大学のニュー・ブリッジの研修はNEXCO中日本の技術研修を大学と連携して実施しており、学内には全国で更新に伴い撤去された橋梁部材を再構築した実橋を設置している。ニュー・ブリッジの研修は当初から有料で運営しており、長崎大学の道守養成講座の有料化に当たって見本とさせていただいている。打ちあわせ会の項目は以下のとおりで、双方にとって有意義な情報交換ができた。

- ・研修内容、演習・実習、試験問題の作成、評価基準、資格認定、講師依頼、資格更新について
- ・運営組織・運営資金について
- ・テキストの改定頻度について
- ・演習・実習で実施している非破壊検査機器について



